



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ジャパンウェイト株式会社横浜事業所焼却施設建築工事(2期工事)	階数	地上4F地下0F
建設地	神奈川県横浜市鶴見区大黒町18-46、18-15	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	31人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年10月 予定	評価の実施日	2023年8月25日
敷地面積	3,757 m ²	作成者	株式会社新井組一級建築士事務所奥田章文
建築面積	2,030 m ²	確認日	2023年9月1日
延床面積	4,313 m ²	確認者	株式会社新井組一級建築士事務所奥田章文

外観/パースなし

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	建物全体の熱負荷を抑えた外皮計画にて、環境性に優れた建物としている。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	特になし。	Q2 サービス性能 配管部材は、耐用年数の長いものを採用し、維持管理に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内に可能な限り緑化を設け、アメニティに配慮している。	
LR1 エネルギー	LED照明など高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。	LR2 資源・マテリアル 節水便器の採用やリサイクル資材の使用など、省資源に取り組んでいる。
LR3 敷地外環境	運用に伴って発生するCO ₂ の発生量を低く抑えることで、地球温暖化に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。	建物名称 ジャパンウェスト株式会社横浜事業所焼却施設建築工事(2期工事)				
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving	重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 4				
<p>■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)</p> <p>この建物の設計一次エネルギー消費量 31 %削減</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 100px; height: 20px; background: linear-gradient(to right, green, yellow, red); position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">0</div> <div style="position: absolute; left: 10%; top: 50%; transform: translateY(-50%);">◀ 少ない</div> <div style="position: absolute; left: 80%; top: 50%; transform: translateY(-50%);">多い ▶</div> </div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>一次エネルギー消費量基準</td> <td>適合</td> </tr> <tr> <td>外皮基準</td> <td>対象外</td> </tr> </table> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">▲ 誘導基準 (20%削減)</p> <p>■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)</p> <p>LED照明など高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。</p>		一次エネルギー消費量基準	適合	外皮基準	対象外
一次エネルギー消費量基準	適合				
外皮基準	対象外				
健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community	重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3				
<p>■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)</p> <p>■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)</p> <p>敷地内に可能な限り緑化を設け、アメニティに配慮している。</p>					
防災への配慮 (R) Resilience	重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3				
<p>■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)</p> <p>配管部材は、耐用年数の長いものを採用し、維持管理に配慮した。</p>					
地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape	重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 3				
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)</p>					
太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)				
エネルギーマネジメントシステム導入					



CASBEE横浜2022年版v.1.0

ジャパンウェスト株式会社横浜事業所焼却施設建築工事(2期工事)

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q	建築物の環境品質							
Q1	室内環境									
1	音環境									
1.1	騒音									
1.2	遮音									
	1 開口部遮音性能									
	2 界壁遮音性能									
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3	吸音									
2	温熱環境									
2.1	室温制御									
	1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境						
	2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能						
	3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境						
2.2	湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境						
2.3	空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境						
3	光・視環境									
3.1	屋光利用									
	1 屋光率	快適・働きやすさ		⑩光環境						
	2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境						
	3 屋光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境						
3.2	グレア対策									
	1 屋光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境						
3.3	照度	快適・働きやすさ		⑩光環境						
3.4	照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境				3.0		
4	空気質環境									
4.1	発生源対策									
	1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境						
4.2	換気									
	1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境						
	2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境						
	3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境						
4.3	運用管理									
	1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境						
	2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境						
Q2	サービス性能						0.43			3.2
1	機能性									
1.1	機能性・使いやすさ									
	1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性						
	2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性						
	3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性						
1.2	心理性・快適性									
	1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性						
	2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性						
	3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性						
1.3	維持管理									
	1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性						
	2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性						
2	耐用性・信頼性				2.9	0.50				2.9
2.1	耐震・免震				3.0	0.50				
	1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80				
	2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20				
2.2	部品・部材の耐用年数				3.0	0.30				
	1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20				
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20				
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10				
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10				
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20				
	6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20				
2.4	信頼性				2.8	0.20				
	1 空調・換気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20				
	2 給排水・衛生設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20				
	3 電気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20				
	4 機械・配管支持方法	防災		⑮信頼性	3.0	0.20				
	5 通信・情報設備	防災		⑮信頼性	2.0	0.20				
3	対応性・更新性				3.5	0.50				3.5
3.1	空間のゆとり				4.6	0.30				
	1 階高のゆとり				5.0	0.60				
	2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40				
3.2	荷重のゆとり				3.0	0.30				
3.3	設備の更新性				3.2	0.40				
	1 空調配管の更新性				4.0	0.20				
	2 給排水管の更新性				3.0	0.20				
	3 電気配線の更新性				3.0	0.10				
	4 通信配線の更新性				3.0	0.10				
	5 設備機器の更新性				3.0	0.20				
	6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20				



CASBEE横浜2022年版v.1.0

ジャパンウエスト株式会社横浜事業所焼却施設建築工事(2期工事)

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
						G3 室外環境(敷地内)		
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり ⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮								
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり ⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ ⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性								
LR1 エネルギー								
- - - - - 3.4								
- - - - - 3.6								
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能 ①建物の熱負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能 ②自然エネルギー利用	3.0	0.13	-	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能 ③設備システムの高効率化	4.1	0.63	-	-	-	-	4.1
4 効率的運用								
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
集合住宅の評価		-	-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル								
- - - - - 3.4								
- - - - - 3.4								
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	-	-	3.4
1.1 節水		4.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減								
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		5.0	0.22	-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.22	-	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避								
3.1 有害物質を含まない材料の使用		2.3	0.20	-	-	-	-	2.3
3.2 フロン・ハロンの回避		2.0	0.70	-	-	-	-	-
1 消火剤		-	-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		1.0	0.50	-	-	-	-	-
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境								
- - - - - 3.1								
- - - - - 3.5								
1 地球温暖化への配慮		3.5	0.33	-	-	-	-	3.5
2 地域環境への配慮								
2.1 大気汚染防止		2.8	0.33	-	-	-	-	2.8
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.50	-	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		2.2	0.25	-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	-	-	-
2.0		2.0	0.25	-	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮								
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.1	0.33	-	-	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 騒音		3.0	1.00	-	-	-	-	-
2 振動		-	-	-	-	-	-	-
3 悪臭		-	-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-	-	-
上記以外の重点項目								
<事務所用途>								
知的生産性向上への取組								
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ ⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-	-
<住宅用途>								
健康と安心								
1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心 ⑦防犯対策	-	-	-	-	-	-	-